

行事名称	第98回技術者倫理研究会例会
開催日時	2022年3月8日（火曜日）18:30～20:30
開催場所	（TeamsによるWEB講演）
主催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 engineeringethics-studygroup
参加者	全国で112名参加（うち北陸本部参加者12名）
演題	製品開発におけるデータ不正事例とその背景
講師	渋谷 高広氏 技術士（機械）
講演資料	あり
内容	<p>製造業の製品開発において繰り返されるデータ不正について、検査データ捏造や改ざんなど、データを不適切に取り扱うことに起因する不正が後を絶たない。</p> <p>不祥事については、世間の関心事となり、連日報道を賑わすが、ある程度期間が経つとその話題は、ほとんど触れられなくなる。産業界において再発防止は、基本的に企業に任されて自主的な改善策が提示されるものの、同一企業（グループ）による不正が繰り返されている。</p> <p>今回具体的な会社名を含めた不祥事の事例紹介と解説、分析、不正を無くすために必要な視点について講演があった。</p> <p>まとめとして、技術者・研究者は、技術力の向上のための継続的自己研鑽と高い倫理観に基づく公正な研究・開発の推進。経営者・管理者は、公正な、倫理的な判断を下した技術者・研究者を評価する仕組みづくり、公正な倫理的な判断をヨシとする企業文化づくり、不適切な行為を早期に抽出できる内部監査制度づくり、公開して改善するリスクヘッジを行う勇気が必要。とお話があった。</p>
所感	<p>具体的な数社の会社名を挙げて、不祥事の事例紹介と解説、分析から、更に1社、より深い「不正をなくすために必要な視点」について、具体的な不正調査報告書の内容のお話があった。その中で、いかにして倫理観を持ち、業務を遂行していくか、考えさせられた講演であった。</p>
記入者：2022. 3. 10 倫理委員会 阿部治彦	